

We Find the Way

 NIPPON EXPRESS

事業説明会資料

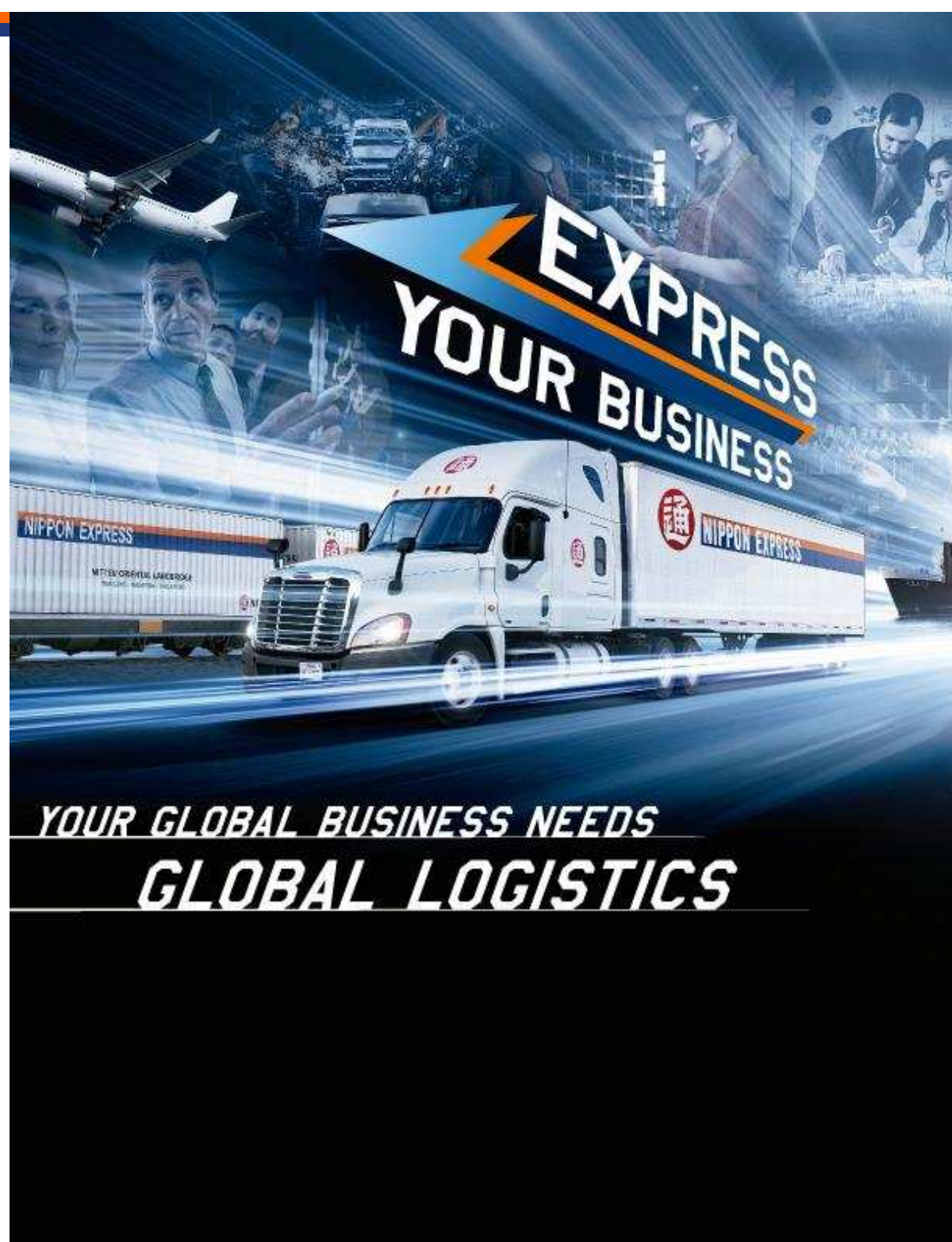
第2セッション

日本事業強靱化戦略

代表取締役副社長 秋田 進

2020年8月26日

日本通運 株式会社



「日本事業の強靱化戦略」の取組



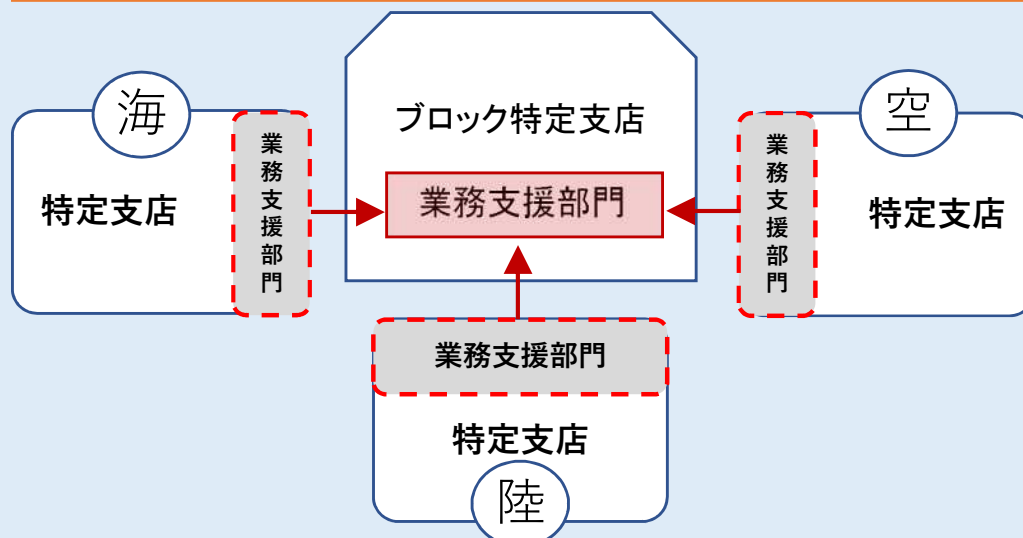
取組項目

- ① 人材のさらなる再配置
- ② オフィス部門の業務の自動化、簡素化
- ③ オペレーションの省力化、自動化
- ④ 陸海空の融合強化
- ⑤ 支店作業会社の強化
- ⑥ 新商品の拡販
- ⑦ 引越事業の構造改革
- ⑧ 路線事業の効率向上
- ⑨ ウィズコロナを踏まえた料金改定
- ⑩ コスト削減と社有戦力の最大限活用

①人材のさらなる再配置（間接部門人員の削減）

■業務支援部門の再編、事務の省力化により間接部門人員を削減し、営業部門等へ再配置

- 2019年度 116名の削減
- 引き続きブロック単位、特定支店単位で業務支援部門の事務を集約
- 2020年度 支店の間接部門人員約100名の削減を計画
- 加えて、本社人員約100名の削減を計画
- RPA化等、事務省力化により更に推進



2019～2020年度
 営業部門、重点産業
 海外、現場力強化
<約300名>

② オフィス部門の業務の自動化、簡素化

■ R P A を全社レベル + 現場レベルの 2 W A Y で推進

全社レベルでの R P A による事務簡素化の推進

- 本社（IT推進部）集約・主導によるロボットの開発・運用
 - ・ 現場担当者と連携した業務分析・標準化の推進
 - ・ 608ロボット稼働（2020年7月末）

現場レベルでの簡易型 R P A による事務簡素化の推進

- 現場による事務改善を伴う簡易型ロボットの開発・運用
 - ・ 個々の現場特有案件の自動化に着手
 - ・ 初期設計、リリース後の仕様変更が簡便
 - ・ 国内ブロックに推進責任者（**50**名）、先行モデル店（**10**店）を配置

③オペレーションの省力化、自動化

■先端技術活用による省力化・自動化を推進し、収益性・品質・DX化対応力を強化する

1. 生産性向上による収益の拡大

(処理能力拡大による売上拡大、作業コストの削減)

2. オペレーション品質の改善

(IoTやロボティクス、AI等を活かした業務改革)

3. “ウィズコロナ”や人手不足への対策強化

(ソーシャルディスタンスの確保、省人化の推進)



- ✓ 全国 **34** 支店に合計 **60** 名の「オペレーション高度化・効率化推進者」を配置
- ✓ 全国 **16** 支店において、合計 **20** 業務の省力化、自動化を推進中
- ✓ 業種・業態別の省力化・自動化モデルを確立し、順次全社への展開を推進

④ 陸海空の融合強化



■ 営業チームの再編

陸海空合同での顧客、産業軸、
事業軸ごとの営業チームの構成

■ 拠点・施設の 有効活用

営業部門の拠点集約、オペレー
ション拠点・施設の供用・集約、
エリア内拠点の再配置



融合

■ オペレーションの 協業体制の推進

車両の相互有効活用による積載
率・稼働率アップ、倉庫の空坪
状況の情報共有、等




⑤ 支店作業会社の強化

■ グループ戦力の最大限活用、働き方改革・法規制対応

グループのシナジー効果を 最大限に

- ▶ 外注費を抑え、コストコントロールを実施するため、グループを含めた社有戦力（人・車）を最大限活用 ⇒ 作業会社強化へ
- ▶ 労働時間、同一労働同一賃金の働き方改革対応、コンプライアンス順守の経営を強化

⑥新商品の拡販 (NEX-NETプロテクトBOX)

小ロットから利用できる	汚破損を防止	マルチモードユニット商品  当社独自のサービスを駆使して さまざまな顧客需要に対応
わかりやすい料金体系	梱包資材を大幅節約	
すべてのモードに対応	施錠可能	
荷役時間短縮	貨物への非接触可能	



⑦ 引越事業構造改革の取組

■ 当社の優位性を活かした体制整備

引越業務従事者（引越スキル保有者）の増強

プランナー増強

全国 4 4 1 名の増強

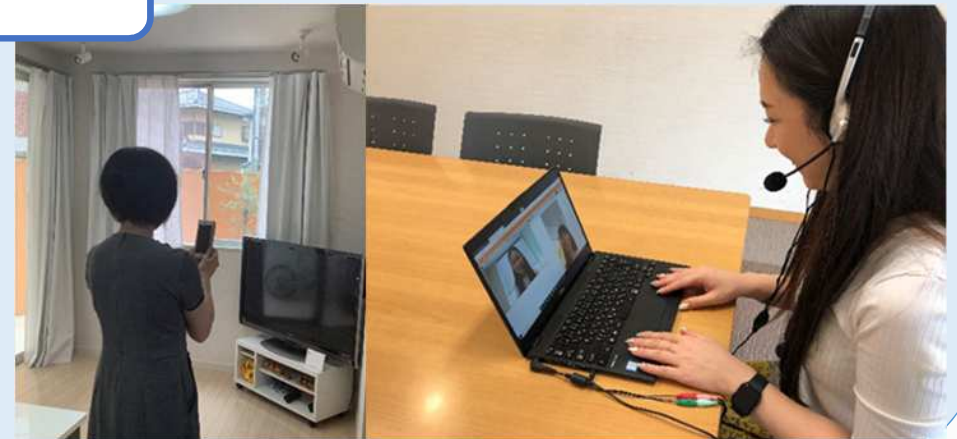
作業戦力増強

全国 7 8 6 名の増強

- ・ 週末（金・土・日曜日）の下見、作業の取込み強化（件数拡大）
- ・ 緻密な組合せ運用の実施（収益性拡大）

リモート見積り「リモミ」の導入 7月1日～

お客様のご都合に合わせた下見
ウィズコロナ時代を見据えた新しい引越
デジタルの導入で、生産性を向上



⑧ 路線事業の効率向上

オペレーション適正化

- 商品規格の見直し**
 - 長尺貨物の見直し（2019年10月）
 - 土曜日配達指定の導入（2020年4月）
 - 日祝日配達の見直し（2020年9月予定）
- 幹線便体制の見直し**
 - 幹線便積載率管理の強化
 - 低積載線区の共載・減便の実施
 - ターミナルの中継機能拡充
- 混載差益向上**
- 集配体制の見直し**
 - 数量変動にあわせた集配車両配置
 - 名鉄運輸との協業エリア拡大

集配効率アップ

オペレーション効率化

売上拡大

- 営業拡大**
 - 主要エリア（東・名・大）での営業強化
 - 航空、海運部門との連携による拡販
 - 他社利用路線貨物のグループ内製化
- 新商品開発**
 - 高付加価値新商品「プロテクトBOXアロー」の全国発売開始（2020年7月）
- 新しいニーズの取り込み**
- 適正運賃の収受**
 - 低運賃顧客との継続的交渉
 - 「荷待ち時間」、「付帯作業」の解消や料金収受を顧客と交渉

コスト上昇への対応

収入確保

路線事業の効率向上

⑨ ウィズコロナを踏まえた料金改定

■ コロナ禍で厳しい状況ではあるが粘り強く継続的に取組む

- 新商品・新サービスを提案
- 荷役作業内容の変更、コース変更、手待ち時間改善等、当社のコスト削減による実質値上げを推進

⑩ コスト削減と社有戦力の最大限活用

- グループ会社を含め、陸海空の社有戦力（人・車）を最大限活用し、外注費を抑え、日々のコストコントロールを強化
- ウィズコロナを踏まえ業務計画（コスト削減策）の見直しを実施、強力に取組中



We Find the Way



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。